

2019年 3月12日

京成電鉄株式会社

訪日外国人のお客様により分かりやすくご案内するため

駅の入先表示器に中国語・韓国語を追加します

3月9日(土)以降順次

京成電鉄(本社:千葉県市川市、社長:小林 敏也)では、3月9日(土)より、スカイライナー停車駅の入先表示器の表示言語に、中国語(簡体字)・韓国語を新たに追加します。

これまで入先表示器の表示言語は日本語および英語でしたが、中国・韓国からの訪日外国人のお客様が増加傾向にあることを踏まえ、列車の経路・種別・入先を4言語で表示することでより分かりやすくご利用いただけるようになります。

また、コンコースに設置している入先表示器(LCDタイプ)については、合わせて入先駅のナンバリング表示を追加し、より一層のご案内強化を図ります。

京成電鉄では、訪日外国人のお客様により快適にご利用いただけるよう努めてまいります。

本件の概要は次頁のとおりです。



↑コンコースに設置している入先表示器(LCDタイプ)、画像は中国語



↑ホームに設置している入先表示器(LEDタイプ)、画像は韓国語

行先表示器への中国語・韓国語の追加について

1. 変更する駅および共用開始時期(2018年度予定)

- (1) 日暮里駅
3月 9日(土)
- (2) 成田空港駅
3月13日(水)
- (3) 空港第2ビル駅
3月15日(金)
- (4) 京成上野駅
3月19日(火)

2. その他

今回対象駅以外の駅においても、順次改修していく予定です。